

会員事業場のご紹介

2018年度安全標語『安全をすべてに優先 その心がけが事故を防ぐ』の方針のもと、無事故・無災害を目指した安全活動を継続していきます。

久志本組

【当社のご紹介】

当社は、四日市市羽津町に本社事業所を構える総合建設会社であり、本年で創業116年を迎えました。多くのお客様に支えられ、地域に支えられ、そして弊社に関わる全ての人たちに支えられ、今があることに感謝と責任を感じております。

長い歴史と多くの経験で培ってきた技術を活かし、伝え、三重県北勢を中心として官公庁や民間企業発注の建築（工場 倉庫 学校 病院 福祉施設 スポーツ施設等）・土木（道路 橋梁堤防等）諸工事に幅広く携わらせていただいております。建設業という仕事において、安全で確実な社会資本の整備を目的とすると同時に、若い技術者を積極的にチャレンジさせ、地域を支える人づくりにも注力しています。

これからも弊社に関わっていただいた皆様に安全・安心・快適性を提供する「頼られる企業」として、日々精進してまいります。



【安全に対する取り組み】

当社は、労働安全衛生マネジメントシステム（OHSAS 18001）の運用に加え、職員及び協力会社の安全意識の高揚や知識の向上をはかる安全大会や各工事事業所での安全教育、災害防止協議会の開催、そして毎月一回、当社安全担当者や若手職員、協力会社が参加しての合同安全パトロールを実施しています。

安全パトロールは労働災害防止活動における予測・予防の手段として、重要な役割を担っています。同時に、職員教育の場としての一面もあり、参加者には様々な現場の取り組みを吸収してもらっています。そのパトロール結果を毎月の全体社内会議にて写真やパトロールシートを使って工事担当者が発表を行い、各現場指摘項目の共有や意見交換を行っており、その現場ごとの安全評点から社内安全表彰も実施しております。

また近年では、現場監視WEBカメラの導入や建設ICT（マシンガイダンス・ドローン他）等の新技術活用においても、更なる安全面での効果も期待して積極的に導入を推進しております。



【まとめ】

現場における安全管理は、知識はもちろんですが、経験と意識が非常に重要です。これからも、企業の財産である経験・情報をより共有しやすい環境づくりに取り組み、安全意識を高める工夫を行って、労働災害の撲滅に努めてまいります。

